

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨					
指定管理者	財団法人 やまなし産業支援機構					
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	産業に関する製品の展示等を中心に県民により多くの情報、技術、文化等の交流の場を提供すること					
指定管理者が行う業務	施設設備維持管理業務 運営業務(利用承認、広報・営業)、サービス向上、利用者増加対策					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
	維持管理計画書及び平成19年度業務計画書どおり適正に業務執行した。		維持管理計画書、維持管理マニュアル及び業務計画書等に基づき、概ね適正に実施されていた。			
運営業務の評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
	平成19年度業務計画書どおり適正に業務執行した。 現状の体制では実現が不可能と判断した計画については、実施を見送った。		業務計画書に基づき、概ね適正に実施されていた。 計画どおり実施可能な体制づくりが不可欠である。			
自主事業の評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
利用者満足度調査	調査結果	満足度	利用者の声			
	評価	満足度80% 不満足20% 満足度評価値=80/(80+20)=80%	総合的に「満足している」 ・施設の充実要望(売店、レストラン)			
利用実績	実績		H18年度実績	H19年度計画	H19年度実績	H20年度目標(人)
		展示場利用率	37.8%	39.0%	38.0%	40.0%
		会議室利用率	43.5%	35.0%	58.4%	35.0%
	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		展示場利用率：一過性による臨時イベントの減少により達成出来なかった。 会議室利用率：達成	満足度評価値は80%と非常に高いが、指定管理者のみでは対応が不可能な意見や要望には、施設を設置者である県としても改善策を検討していく。 展示場利用率の平成19年度計画を達成できなかった理由が、外的要因のみであったのか検証していく必要がある。 現状の組織体制では、十分な営業活動が行えない等の理由であれば、指定管理者として改善が必要である。			
収支の状況	科目		H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)
		収入	利用料金収入	112,503,000	104,107,500	8,395,500
		その他収入	4,541,000	7,701,343	-3,160,343	4,541,000
		計	117,044,000	111,808,843	5,235,157	119,844,000
	支出	納付金	8,000,000	8,000,000	0	9,500,000
		その他支出	107,018,000	99,488,808	7,529,192	109,979,000
		計	115,018,000	107,488,808	7,529,192	119,479,000
	差し引き(収入-支出)	2,026,000	4,320,035		365,000	
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
		損益分岐点はクリアしているため、現状の収入を維持していくことにより円滑な管理運営が可能である。	収支のバランスについては、概ね満足できる結果ではあるが、使用料収入が目標を達成した上で、戦略的な支出計画が必要である。			
施設の運営目標の達成状況	展示場利用率は目標を僅かに下回ったものの、会議室の利用率は目標を十分に上回っていることから、概ね目標は達成している。 閑散期のイベント開催など、具体的な対策が必要である。					
総合的な評価及び改善事項	・施設の維持管理については、総合的に適正な業務執行である。 ・展示場の利用件数や利用率については、目標達成とまではならず、更なる営業努力を期待する。 ・収支バランス自体は概ね満足できる結果であるが、使用料収入の目標を達成した上で収支バランスの更なる向上に期待する。					